

社会教育施設の効果的な活用

○ **取組概要**
「生涯学習センター・湧学園」等の社会教育施設等において、放課後の時間を活用して読書活動や英語活動、授業の予習や復習にかかわる学習支援を中心としたプログラムを展開した。

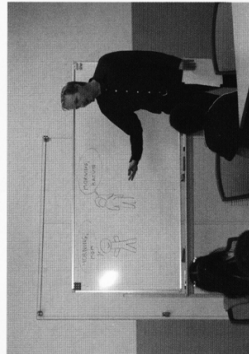
○ **取組の実際**
毎週木曜日の午後3時15分～午後4時45分の間、読書活動や英語活動、学習支援にかかわるプログラムを作成し、計画的に実施している。



クロスワードを作成して、本の検索を楽しみながら学べるようになっています。



読書意欲を高めるよう、紙芝居などの多様な活動を展開しています。



A・L・Tと簡単な英会話やゲームなどを楽しんでいます。



絵カードを使ったリスニングトレーニングでは、意欲的に取り組む児童生徒の姿が見られます。

○ **成果**
・平成19年5月から12月までに21回実施し、延べ611名の参加があった。
・読書活動を取り入れたことから、図書館が身近な存在になり、児童生徒の貸出冊数が増加した。
・英語活動を行ったことから、カナダ（A・L・T出身国）の文化や習慣について興味をもつ児童生徒が増加した。

○ **課題**
・幅広い学年の児童生徒に対応するために、多様なプログラムを用意する必要がある。
・小学校低学年の参加が多いため、PTAや社会教育関係団体等と連携し指導者や協力者を増やす必要がある。
・参加している児童生徒に目的意識をもたせるために、読書の楽しさや学ぶことの楽しさを感じられるような場を設ける必要がある。

地域人材の効果的な活用

○ **取組概要**
市内7つの「スクール児童館」において、放課後に、退職教員及び地域文化団体のボランティアの方による学習支援活動を実施した。
（※「スクール児童館」：校内に設置された児童館と児童クラブの機能を併せもった施設）

○ **取組の実際**
・市内のスクール児童館において、ボランティアの方が子どもたちに授業の予習や復習に関する学習支援を行うとともに、書道、詩吟などを教えている。また、礼儀作法や言葉遣いなど、基本的な生活習慣に関する指導も行っている。（ボランティアの登録人数は、現在18名）
・毎週土曜日の午前中には、学習内容の理解が不十分な子どもに対して、つますきに応じた個別の学習支援を行っている。
・詩吟の活動は、週1回30分程度で行われているが、子どもたちは、詩吟を暗唱し、発表する活動に興味をもって取り組んでいる。



個別の学習支援の様子



詩吟を学んでいる様子

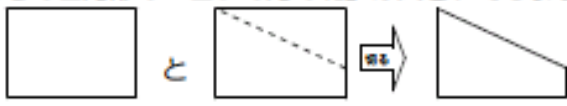


○ **成果**
・補完的な学習サポートを中心とした取組を展開することにより、学校で学んだ基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、自ら学ぼうとする学習習慣を次第に形成することができている。
・書道、詩吟等の活動を通して、集中して取り組む機会を提供し、国語の美しさを味わわせることによって、学校や家庭における「読み・書き」に関する学習意欲の向上に結び付けることができている。
・地域の人と直接触れ合うことを通じて、人と接する時のマナーや言葉遣いなどを学び、教職員から、『スクール児童館』の取組により礼儀正しい態度が身に付いてきている。」という感想が聞かれるようになってきている。

○ **課題**
・子どもや保護者の要望を生かした活動の一層の充実に向けて、広く意見を聞く機会を設定する必要がある。
・補完的な学習サポートの時間を十分確保したり、取り組む場所を整えたりするなど、「スクール児童館」の共通の取組を進める必要がある。
・他の社会教育施設における活動を取り入れるなど、ボランティアの拡大やネットワークの構築を進める必要がある。

三角形の性質を根拠にして、角の大きさを求めたり、他の平面図形の性質を見いだす実践例

本実践例では、基本的な図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりして、基本的な平面図形についての理解を一層深めるよう工夫しています。

- 1 単元名 「図形の角」(第5学年)
- 2 本時の目標 四角形の四つの角の和の求め方を考え、 360° であることを理解する。【知識・理解】
- 3 本時の展開 (3/7)

子どもの学習活動(*)と教師のはたらきかけ(O)	留意点(・)と評価(※)
<p>問題 どちらの四角形の「四つの角の和」が大きいですか。</p>  <p>○ 予想してみよう。 *長方形 *切った四角形 *同じ *分からない</p> <p>○ まず、やってみよう。 *分度器で測ってみよう。*線を引いて考えてみよう。 *角をちぎって寄せ集めてみよう。 *折り込んでみよう。</p> <p>○ 何か困っていることはありますか。 *分度器だと測りづらい *370°になった。 *362°だよ、どれが正しいの。 *分度器を使わないで考えられないかな。</p> <p>分度器を使わないで、切った形の「四つの角の和の大きさ」を考えよう。</p> <p>○ 続けて考えよう。 *① 分度器で測って足したら、やっぱり360°になった。 *② 線を引いたら二つの三角形になる。</p>  <p>*③ 四つの角をちぎって寄せ集めると、ちょうど一回転の角の大きさだから360°になる。 *④ 折り込んでみたら一直線になり180°で、残りの二つの角は直角なので90°になって、合わせると360°になる。</p>  <p>○ 考えを公表しよう。 *三角形のときも寄せ集めたよ。 *分度器で測って360°でもいいんじゃないかな。 *折り込むのは難しいな。 *なるほど、線を引くと二つの三角形になるんだ。 *三角形2つ分だから360°でいいんだ。 *線を引く考えなら、違う図形でも使えるよ。</p> <p>○ 教科書〇ページの四角形で、四つの角の和の大きさを求めてみよう。</p> <p>○ 今日の学習のまとめをしよう。</p> <p>四角形の四つの角の和の大きさは360°になる。</p>	<p>・葛藤の場面を提示し、解決の必要感をもつことができるようにする。</p> <p>身近にある形を問題にするとともに、実際に操作ができる工夫をし、自分で確かめられるようにしています。</p> <p>・直観を認め、解決への意欲を持続できるようにする。</p> <p>—情報を取り出す—</p> <p>・およそ360°になることを確認する。</p> <p>正方形、長方形、三角形(二等辺三角形、正三角形等)の性質に基づいて図形の構成・分解を行うように促し、基本的な意味を見だしていく学習を進めることで、次第に豊かな感覚を育てます。</p> <p>※既習の内容を基に、四角形の四つの角の和が360°になることが分かる。【ノート・発言】</p> <p>—解釈し理解する—</p> <p>・実際に黒板で図形などを用いながら、自分の言葉で説明できるようにする。</p> <p>—考え活用する—</p> <p>三角形の三つの角の和の大きさが180°であることや、既習の考え方を活用しながら互いの考えを説明することにより、図形の性質を実感を伴って理解できるようにしています。</p>

ワンポイントアドバイス

- 操作などを取り入れながら説明することで、図形の性質についての理解を確かなものにします。
- 三角形の場合の性質を基にして、そのほかの多角形についてはどのような性質があるのかを調べていくなど、活動を発展させていく学習ができます。

算数で学習したことを生活の中で活用する実践例

本実践例は、日常の事象に関する問題解決を通して、算数を活用するよさに気付くようにするとともに、生活の中から学習したことを見つけることにより、理解が一層深まるよう工夫しています。

- 1 単元名 「百分率とグラフ」(第5学年)
- 2 本時の目標 日常の事象について、百分率を活用しようとする。【関心・懸念・懸念】
和や差を含んだ割合の場合について、百分率を活用して考えることができる。【数学的な考え方】
- 3 本時の展開 (6/9)

子どもの学習活動(*)と教師のはたらきかけ(O)	留意点(・)と評価(**)
<p>問題 ある店で、定価250円のジュースに、それぞれ「40円引き」と「20%引き」と書かれたシールがはられています。 どちらのほうがいくら安くなりますか。</p> <p>O まず、少し自分だけで考えてみよう。 *「40円引き」は、40円を引くということだね。 *「20%引き」は、250円から何円引けばいいのかな。 *図や数直線に表してみようかな。</p> <p>O 困っていることがあれば発表しよう。 *250から20を引いてもだめだね。 *250円の20%は何円かな。 *20%を小数や分数で表せばできそうだ。</p> <p>O 続けて考えてみよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>①250円の20%は、 $250 \times 0.2 = 50$だから、 $250 - 50 = 200$ (円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>②数直線を使って考えると、 0 □ 250 (円) 0 0.2 1 (割合) 20 100 (%) □=50だから、200 (円)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>③20%引いた割合は、 $1 - 0.2 = 0.8$だから、 $250 \times 0.8 = 200$ (円)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>④20%は、$1/5$だから、 $250 \times 1/5 = 50$で、 $250 - 50 = 200$ (円)</p> </div> </div> <p>O みんなで話し合おう *「40円引き」は、$250 - 40$で210円、 「20%引き」は、200円になる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ> 百分率を使って、「定価 - (定価 × 割合) = 代金」となり、 「20%引き」のほうが10円安い。</p> </div> <p>O 生活の中から見つけよう *「40円引き」は、何%引きのことかな。 *どうして、「00円引き」と「00%引き」の両方があるのかな。 *消費税を加えた代金は、5%分をたすということだね。 *スーパーマーケットのちらしにも、百分率が使われているよ。</p> <p>O 以前に、社会科見学で行った商店のちらしから見つけてみよう *「10%増量」は、10%増えた量が入っていることだね。 *「カロリー30%オフ」は、30%少ないということだね。</p>	<p>身近な生活の場面を設定し、数や量の大きさの感覚をもちながら考えることができるようにしています。</p> <p>・「40円引き」や「20%引き」を生活の中からイメージできるようにする。</p> <p style="text-align: center;">情報を取り出す</p> <p>これまでに学習した割合や百分率の考えを活用したり、身近な生活の場面と関連付けたりしながら解決することにより、実感を伴った理解ができるようにしています。</p> <p>・子どもの興味・関心、疑問や問題意識、実生活における体験などに関連させ、算数のよさを実感できるようにする。</p> <p style="text-align: center;">解釈し理解する</p> <p>学習したことを生活の中から見つけることにより、学習が意味あるものとなり、百分率を活用するよさを実感できるようにしています。</p> <p>※日常生活から、百分率が用いられる事象を見つけるなどの活動を通して、生活の様々な場面で活用しようとする。 【発言、ノート】</p> <p style="text-align: center;">考え活用する</p>

【フアンポイントアドバイス】 算数科における「生活」と「活用」とは・・・
・「生活」とは、子どもの生活すべて、つまり、日常生活、社会生活とともに、学校での生活、算数の学習も「生活」の中に含まれます。
・「活用」には、既習の知識を活用して新しい算数の知識や方法を生み出すことなども含まれます。